



社会医療法人財団 石心会
川崎幸病院



外科年報

2024





外科科長
外科主任部長

網木 学

川崎幸病院 外科では、胃癌、大腸癌、膵臓癌、胆道癌、肝臓癌、食道癌、乳癌などの悪性腫瘍を中心に診療を行っています。また、胆石症、ヘルニア、虫垂炎、肥満症、逆流性食道炎などの良性疾患に対する手術治療にも積極的に取り組んでいます。外科で扱う対象疾患は多岐にわたるため、各臓器の専門医による診療体制を整えています。さらに、地域の腹部救急疾患に対して24時間365日対応できるよう、オンコール体制を整備しています。また、第二川崎幸クリニックでは外科、肛門大腸外来、食道外科、乳腺外来、肥満外来、化学療法外来を展開しております。

今後も皆様から信頼される病院をめざして、努力していく所存です。引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

消化器病センター 外科 診療基本方針

1. 消化器腫瘍・悪性腫瘍疾患に対する高度専門医療の提供
2. 消化器の急性期疾患に対する24時間の対応

外科診療の4本柱

食道部門

消化管部門

肝胆膵部門

乳腺外科

悪性腫瘍等

食道がん、胃がん、大腸がん、肝臓がん、膵臓がん、胆のうがん、乳がん など

良性疾患

消化管良性腫瘍、痔疾患、胆嚢結石、鼠経ヘルニア、腹壁ヘルニア、高度肥満 など

急性疾患

急性腹症、胃十二指腸潰瘍穿孔、大腸穿孔、腸閉塞、虚血性腸炎、大腸憩室炎、急性胆嚢炎、ヘルニア嵌頓 など



食道部門

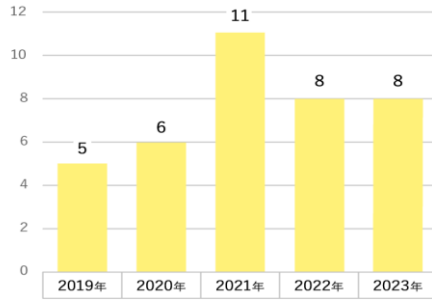


川崎幸病院副院長
外科食道部門長
がん治療センター長
臨床研修センター長

日月(たちもり) 裕司

■ 専門
食道外科
(特に食道がん手術)

食道がん、食道裂孔ヘルニア、食道穿孔、食道異物などを治療しています。食道癌には手術・抗がん剤・放射線治療・免疫療法による集学的治療を行います。手術は胸腔鏡を用いた低侵襲手術を行っています。手術を受けたくない方や手術が難しい方には化学放射線療法を行います。化学放射線療法後のサルベージ手術の経験も豊富で、他院治療後の遺残や再燃に対する治療の依頼にも対応可能です。日本食道学会の食道外科専門医が常勤し、食道外科専門医認定施設に指定されています。地域の中で専門病院と同レベルの診療を受けられる医療体制を提供しています。大動脈術後の食道穿孔などの難しい病態にも大動脈外科と協力して対応しています。



食道がん切除手術 年次推移

食道がん手術	7
サルベージ手術	1
大動脈瘤手術後食道穿孔の食道切除再建	1
食道破裂	3

2023年 手術内訳

消化管部門

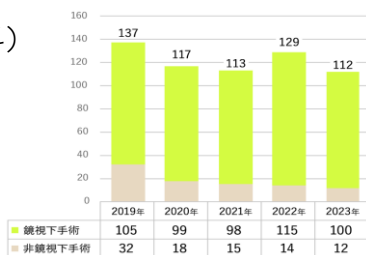


外科消化管部門長
成田 和広

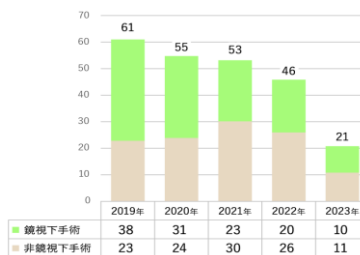
■ 専門
消化器外科
(特に大腸肛門外科)
内視鏡外科および
消化器内視鏡

消化管外科は、胃から大腸・肛門までの消化管を扱い、消化器外科の中で多くの疾患が対象となります。外来部門である第二川崎幸クリニックと連携し、死因第一位である悪性新生物の代表的疾患である大腸癌、胃癌を中心に、早期発見から手術、化学療法、放射線治療など集学的治療を行っており、地域のがん診療の拠点としての役割を担っています。上級医は内視鏡外科技術認定医を取得しており、緊急を含めた全手術の半数以上を腹腔鏡手術で行うなど低侵襲手術に努めています。直腸癌の側方郭清や経肛門的鏡視下手術、肛門機能温存術などの高度手術や、ICGによる血流評価にて吻合不全対策も行っています。消化管穿孔、ヘルニア嵌頓や腸閉塞などの急性腹症も24時間365日受け入れており、緊急手術は全体の約3割にも及んでいます。また、肛門疾患では内痔核に対する切らない治療(ALTA療法)を含めて対応しています。

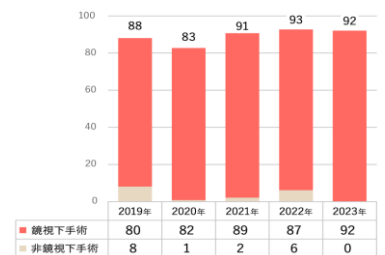
消化管精査に関して内視鏡検査などもオープン検査で対応しており、急性腹症を含めた当科対応疾患も関しては迅速に対応いたしますのでいつでもご紹介いただければ幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。



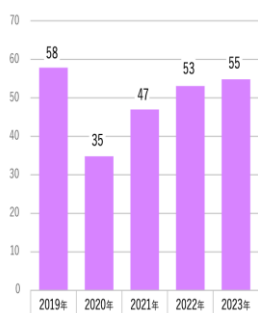
大腸がん手術 年次推移



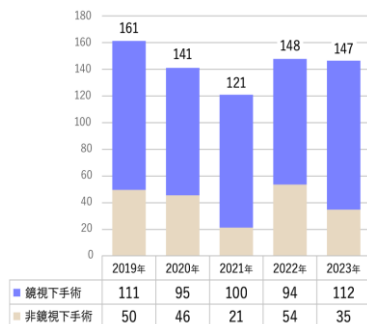
胃がん手術 年次推移



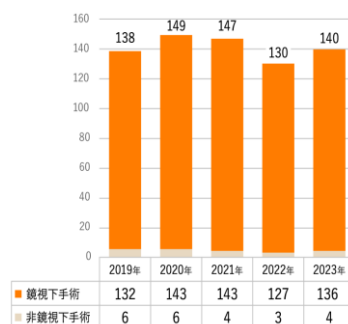
虫垂炎手術 年次推移



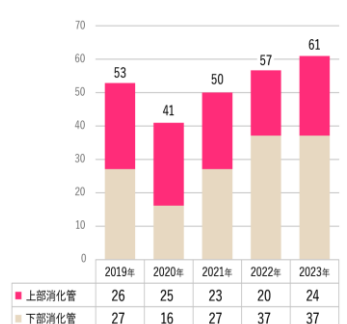
肛門手術 年次推移



ヘルニア手術 年次推移



胆石症手術 年次推移



消化管穿孔手術 年次推移

肝胆膵部門



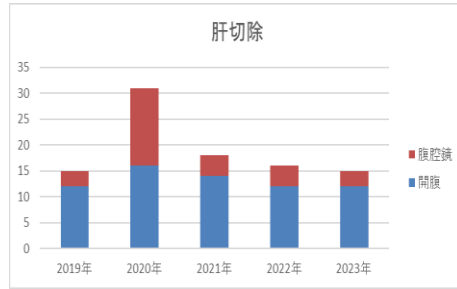
外科肝胆膵部門長

原 義明

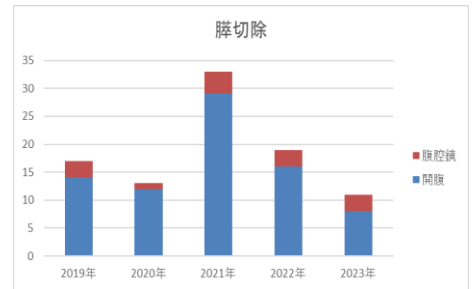
■ 専門

消化器外科
肝胆膵外科
内視鏡外科

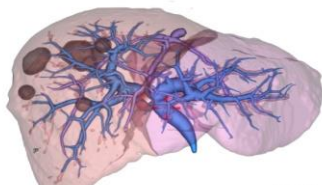
肝胆膵外科では、膵癌、肝癌などの進行癌症例が多く、またご高齢の患者様も多いですが、根治性と安全性の両立を第一として手術を行っています。肝切除では術前CT volumetry、3Dシミュレーションなどを用いて、より安全な手術を実施しています。膵癌に対しては原則術前化学療法を行った後に手術を行っています。症例に応じて、門脈などの血管合併切除も積極的に行い、癌遺残のないR0手術を実施しています。肝切除、膵切除ともに適応症例に対しては腹腔鏡手術も積極的に行っています。また、急性胆嚢炎に対しても早期手術を行っております。ご高齢の患者様も多いですが、患者様それぞれに応じた最適な治療を考慮して診療しています。いつでもご連絡、ご紹介いただけますと幸いです。



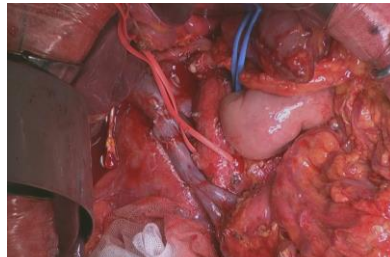
肝切除 年次推移



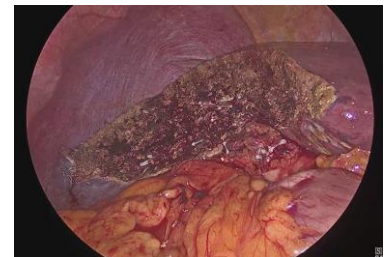
膵切除 年次推移



3D-CTシミュレーション画像
(転移性肝腫瘍)

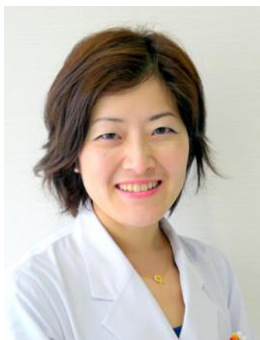


膵頭十二指腸切除、
肝動脈・門脈合併切除再建
(膵頭部癌)



腹腔鏡下肝S5切除(肝内胆管癌)

乳腺外科



乳腺外科部長
プレストセンター長
(第二川崎幸クリニック担当)

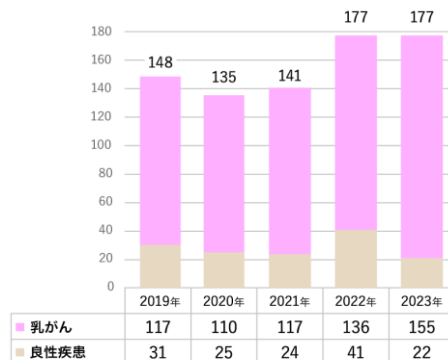
木村 芙英

■ 専門

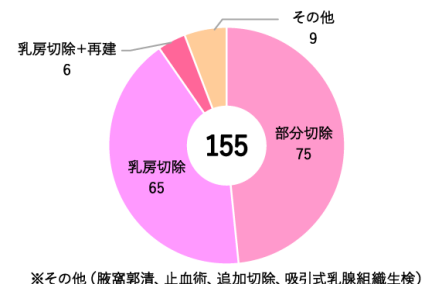
乳癌の検診・診断・治療、
乳房の良性病変に対する治療

プレストセンターでは、乳癌検診、乳癌をはじめとする悪性腫瘍の診断・治療、遺伝相談や乳腺炎、葉状腫瘍などの良性疾患の診断・治療を専門的に行っています。一般的な乳癌手術についてはもとより、形成外科スタッフと連携した乳房再建(自家組織や人工物)を取り入れ、整容性の高い治療を行っています。また、乳房温存手術では術後放射線治療が必要となります。引き続き放射線治療科にてシームレスに治療を行うことができます。乳癌の薬物療法はホルモン療法、化学療法、分子標的治療や免疫チェックポイント阻害剤等、多岐に渡ります。また、新規薬剤の参入が多い領域でもあります。

乳腺を専門とする私達は日々情報を更新し、患者様一人一人のリスクと価値観に合わせた治療を行えるよう取り組んでおります。現在、乳腺を専門とする常勤医師3名と非常勤医師数名で診療にあたっています。今後ともスタッフ一同精進してまいりますので、よろしくお願いたします。



乳腺手術 年次推移

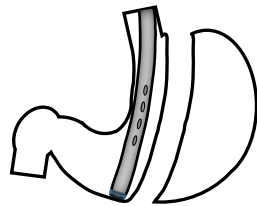


2023年 手術件数内訳

減量外科のご紹介

海外では高度肥満症に対する外科手術が積極的に行われており、劇的な体重減少や、糖尿病や高血圧症などの改善が多数報告されています。日本では実施可能な施設は限られているのが現状です。当院では2019年より、腹腔鏡下スリーブ状胃切除術、2024年より腹腔鏡下スリーブバイパス術を導入致しました(図1)。腹腔鏡下スリーブ状胃切除術とは、胃を特殊な器具に沿わせて切離し、胃のサイズを100ml程度へ縮小させる術式です。また、腹腔鏡下スリーブバイパス術は十二指腸に小腸をバイパスすることで、より強力な体重減少や糖尿病改善効果を得る術式です。これまで、両術式ともに重篤な合併症は無く、腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の術後1年の平均体重減少は約40kgと非常に良好でした(図2)。手術件数も年々増加しており、2023年は53症例で、神奈川県で第1位、全国で第4位の手術件数でした(図3)。術後は多職種での外来フォローを継続し、長期間に渡って体重減少が維持できるようサポートさせていただきます。なお、日本語以外での外来診療(英語、スペイン語、ポルトガル語)や、オンライン診療(日本語、英語)も行っておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

腹腔鏡下スリーブ状胃切除術



腹腔鏡下スリーブバイパス術

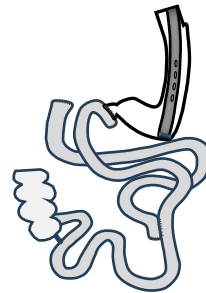


図1

腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の手術成績
2019年12月～2023年12月

	LSG (n=154)
平均体重	117kg
平均手術時間(分)	113
重篤な合併症	0
術後在院日数(日)	3 [3-5]

図2

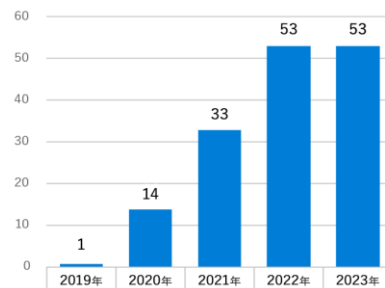


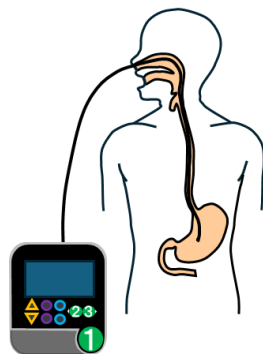
図3



治療に関する疑問点などについてはE-mailでも対応しておりますのでお気軽にご相談ください。
E-mail: genryou@saiwaihp.org

食道pHモニタリング検査の導入

2024年より食道pHモニタリング検査を導入致しました。食道pHモニタリング検査とは胃食道逆流の程度を評価するための検査で、pHモニター装置(直径2mmほどの軟らかいチューブ)を鼻から入れて先端部を胃内に留置し、24時間のpHの変動を記録して胃食道逆流の有無、程度を評価します。逆流性食道炎に対する手術適応(腹腔鏡下噴門形成術)を決定するうえで非常に重要な検査であり、2泊3日の入院で行っております。



食道pHモニタリング検査





外科科長
外科主任部長

網木 学

■ 専門
内視鏡外科
肥満減量外科

■ 認定資格等

- ・ 麻酔科標榜医
- ・ 日本外科学会専門医・指導医
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医・評議員
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医
- ・ 検診マンモグラフィー読影認定医
- ・ 日本ヘルニア学会評議員
- ・ 厚生労働省指定オンライン診療研修終了



川崎幸病院副院長
外科食道部門長
がん治療センター長
臨床研修センター長

日月(たちもり) 裕司

■ 専門
食道外科
(特に食道がん手術)

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医・指導医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本胸部外科学会指導医
- ・ 日本食道学会食道外科専門医・食道科認定医
- ・ 医学博士



外科消化管部門長

成田 和広

■ 専門
消化器外科(特に大腸肛門外科)
内視鏡外科および消化器内視鏡

■ 認定資格等

- ・ 医学博士(甲)
- ・ 日本外科学会認定医・専門医・指導医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本大腸肛門病学会専門医・指導医
- ・ 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
- ・ 日本消化器病学会専門医・指導医
- ・ 日本救急医学会救急科専門医
- ・ 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・評議員
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸)・評議員
- ・ 日本臨床外科学会評議員
- ・ 日本外科感染症学会評議員
- ・ 大腸癌研究会施設代表者
- ・ 大腸ステント安全手技研究会世話人
- ・ 神奈川ストーマ研究会世話人
- ・ 川崎市外科医会常任幹事
- ・ 厚生労働省認定臨床研修指導医
- ・ ICD(認定)
- ・ 身体障害者指定医
- ・ 内痔核治療法研究会四段階注射法講習会修了
- ・ TNTコース修了
- ・ 緩和ケア研修会修了
- ・ 仙骨神経刺激療法講習修了
- ・ 急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会修了



外科肝胆膵部門長

原 義明

■ 専門
消化器外科
肝胆膵外科
内視鏡外科

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会認定医・専門医・指導医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本肝臓学会肝臓専門医
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医(胆道)・評議員
- ・ 日本肝胆膵外科学会評議員
- ・ 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医・評議員
- ・ 厚生労働省認定臨床研修指導医
- ・ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・ 日本移植学会移植認定医
- ・ 日本胆道学会指導医
- ・ 医学博士



外科医長
末永 泰人

■ 専門
大腸外科

■ 認定資格等

- 日本外科学会外科専門医
- 日本消化器外科学会消化器外科専門医

■ 略歴

2011年 名古屋市立大学医学部医学科卒業
 2011年 市立四日市病院 初期研修医
 2013年 市立四日市病院 外科
 2018年 愛知県がんセンター 消化器外科
 2021年 新松戸中央総合病院 外科
 2023年 川崎幸病院 外科



外科医師
望月 一太郎

■ 略歴

2015年 金沢大学医薬保健学域医学類卒業
 2015年 金沢大学附属病院 初期臨床研修医
 2020年 川崎幸病院 外科



外科医師
結城 啓介

■ 略歴

2023年 川崎幸病院 外科



外科医師
渡部 和玄

■ 略歴

2018年 東京大学医学部医学科卒業
 2018年 東京都健康長寿医療センター 外科
 2020年 静岡県立総合病院 消化器外科
 2022年 東京大学医学部附属病院 外科
 2023年 川崎幸病院 外科



外科医師
大倉 拓

■ 略歴

2020年 横浜市立大学医学部医学科卒業
 2020年 東京品川病院
 2022年 東京品川病院 呼吸器外科
 2022年 横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター
 心臓血管外科
 2023年 済生会横浜市南部病院 外科
 2024年 川崎幸病院 外科



外科医師
小川 純平

■ 略歴

2024年 川崎幸病院 外科



外科顧問
川崎幸病院副院長 兼 診療部長

後藤 学

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 身体障害者指定医
- 厚生労働省認定臨床研修指導医

乳腺外科



乳腺外科部長
ブレストセンター長
(第二川崎幸クリニック担当)

木村 芙英

■ 専門

乳癌の検診・診断・治療、
乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医・指導医
- 日本乳癌学会専門医・指導医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- マンモグラフィー読影認定医
- 日本超音波医学会超音波専門医
- 緩和ケア研修会修了
- 医学博士
- 東京医科大学病院乳腺科兼任講師

乳腺外科副部長
(第二川崎幸クリニック担当)

中村 幸子

■ 専門

乳癌の検診・診断・治療、
乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 日本乳癌学会専門医・指導医
- 臨床遺伝専門医
- 遺伝性腫瘍専門医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- マンモグラフィー読影認定医
- 乳腺超音波読影認定医
- 緩和ケア研修会修了
- 医学博士



乳腺外科医長
(第二川崎幸クリニック担当)

関 晶南

■ 専門

乳癌の検診・診断・治療、
乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 日本乳癌学会認定医
- マンモグラフィー読影認定医
- 乳腺超音波読影認定医
- 緩和ケア研修会修了



2024年の2月に外科診療科長の職を網木医師にゆずり、自身は診療部長職に専念することとしました。さらに4月からは呼吸器外科を外科から独立させることといたしました。川崎幸病院外科の責任者は代わっても消化器腫瘍外科、乳腺外科、内視鏡外科、ヘルニア・肥満外科、腹部救急外科はこれからも継続してまいります。網木医師はまだ若い診療科長ではありますが、皆様のお力でお引き立ていただき、川崎幸病院とともにご指導、ご鞭撻頂ければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

外科顧問
川崎幸病院副院長 兼 診療部長

後藤 学



今年の元旦は初日の出も愛でることが出来、穏やかな一年を過ごせると思っていた矢先の能登半島地震でした。また2日には羽田空港での衝突炎上事故。まさに一寸先は闇と感じさせられた年始めとなってしまいました。川崎市医師会からも元旦から今後の能登半島医療支援に関する緊急連絡が入り、2日には羽田空港への医療支援に関する緊急連絡が入りました。このような一連の動きから改めて‘必要とされる医療を提供し続けること’、それが私たち医療者の使命と考えさせられました。7月に開院10年目を迎えた本年は、a)情報の共有 b)明るい職場環境づくり c)自らが受けた医療の提供のための創意工夫 d)誰もが働きたくなる職場環境づくりの4点を今後も継続して参ります。財団の基本理念‘断らない医療’‘患者主体の医療’‘地域に根ざし、地域に貢献する医療’を常に心に刻み当院の基本精神である‘和顔愛語、先意承問’を実践して参ります。

外科顧問
第二川崎幸クリニック院長

関川 浩司

川崎幸病院そして第二川崎幸クリニックへのご支援、ご指導のほど宜しく願い申し上げます。



学会発表等 (2023年1月~12月)

【国際学会】

発表者	期間	学会名	演題名	開催地
石山 泰寛	2023.3.29	SAGES 2023(アメリカ内視鏡外科学会)	IS Laparoscopic surgery for pathological T4 colorectal cancer	カナダ
皆川 結明	2023.3.29	SAGES 2023(アメリカ内視鏡外科学会)	Four cases of Hartman's surgery for rectal Cancer with TaTME approach	カナダ
哲翁 直之	2023.3.29	SAGES 2023(アメリカ内視鏡外科学会)	A case of postoperative hemorrhaging after revisional sleeve gastrectomy for gastric Plication	カナダ
網木 学	2023.5.26	APMB 2023	Vantral hernia repair with enhanced-view totally extraperitoneal technique after a massive weight loss by laparoscopic sleeve gastrectomy	タイ
網木 学	2023.6.8	KSMB 2023	Wernicke Encephalopathy Following Laparoscopic Sleeve Gastrectomy in a Young Female Patient	韓国

【全国学会】

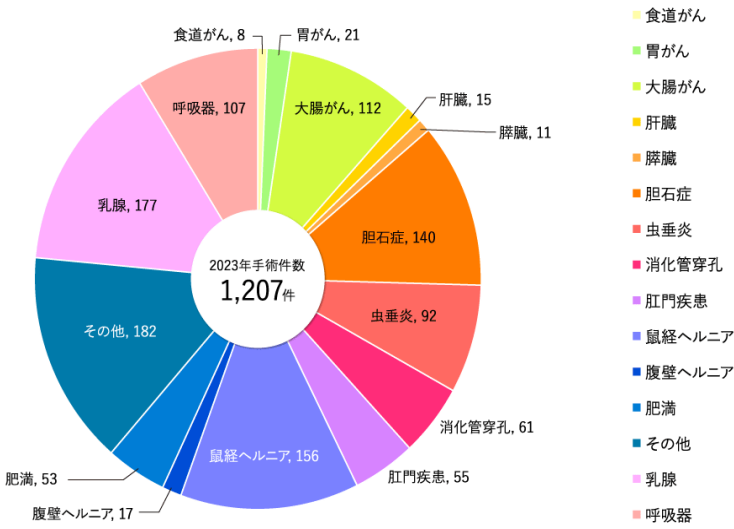
発表者	期間	学会名	演題名	開催地
伊藤 慎吾	2023.1.14	第26回日本病態栄養学会年次学術集会	がん支持療法や緩和ケアに漢方薬を活かす	京都
伊藤 慎吾	2023.2.3	第19回日本消化管学会総会学術集会	高齢者の切除不能進行胃癌に対して 外科医が行う化学療法と外科治療の実践について	東京
皆川 結明	2023.2.24	第95回日本胃癌学会総会	実臨床における患者立脚型アウトカムPGSAS-37のエクセルアプリによる胃切除後障害の評価	北海道
石山 泰寛	2023.3.9	第59回日本腹部救急医学会総会	閉塞性大腸癌に対するステント留置は手術に影響を及ぼすのか?	沖縄
皆川 結明	2023.3.9	第59回日本腹部救急医学会総会	閉塞性腸管虚血(NOMI)の早期死亡に関するリスク因子の検討	沖縄
伊藤 慎吾	2023.3.9	第59回日本腹部救急医学会総会	当院で経験した短腸症候群2例の長期予後についての検討	沖縄
成田 和広	2023.3.9	第59回日本腹部救急医学会総会	一般演題(口演) 58 腸閉塞④	沖縄
福田 敏之	2023.3.10	第59回日本腹部救急医学会総会	高リスク患者の急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の安全性の検討	沖縄
小川 純平	2023.3.10	第59回日本腹部救急医学会総会	大動脈瘤破裂時に発見された非閉塞性腸管虚血症(NOMI)に対し小腸全摘術を施行した1例	沖縄
哲翁 直之	2023.3.11	第59回日本腹部救急医学会総会	食餌性腸閉塞を契機とした空腸憩室穿孔により腸管切除を要した1例	沖縄
木場 翔太	2023.3.12	第59回日本腹部救急医学会総会	横行結腸と胃の合併切除を要した小腸GISTの1例	沖縄
加藤 裕樹	2023.3.13	第59回日本腹部救急医学会総会	胆嚢癌による閉塞性胆管炎から敗血症性ショックを来した1例	沖縄
井田 夏希	2023.3.14	第59回日本腹部救急医学会総会	腹腔内出血に対し動脈塞栓術後も再出血をきたし、開腹胃部分切除となった胃GISTの1例	沖縄
伊藤 慎吾	2023.3.18	第20回日本臨床腫瘍学会学術集会	がん悪液質患者に対するエドルズの使用経験	福岡
伊藤 慎吾	2023.4.7	第109回日本消化器病学会総会	OncoBEAM RAS CROCKを用いた切除不能大腸癌例の検討	長崎
石山 泰寛	2023.4.27	第123回日本外科学会定期学術集会	BMI>25のStage II or IIIの直腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除術における術中合併症のリスク因子とは?	東京
伊藤 慎吾	2023.4.27	第123回日本外科学会定期学術集会	急性期病院におけるインフォームドコンセントの実践 SDMの実践と定型化への課題	東京
伊藤 慎吾	2023.4.29	第123回日本外科学会定期学術集会	非クローン病の短腸症候群患者の生命予後 ~レベスティブへの期待~	東京
関 晶南	2023.5.14	第50回日本乳腺甲状腺超音波医学学会学術集会	巨大乳房腫瘍に対する適切な針生検部位の検討-当院での2症例	東京
木村 美英	2023.5.14	第50回日本乳腺甲状腺超音波医学学会学術集会	悪性が疑われる病変に対する乳房超音波精確検査診断の紹介と症例検討	東京
石山 泰寛	2023.5.26	第21回日本ヘルニア学会学術集会	ヘルニアの救急医療・緊急手術	大阪
伊藤 慎吾	2023.5.27	第105回日本消化器内視鏡学会	外科治療を施行したpT1b大腸癌におけるガイドラインの妥当性について	品川
木村 美英	2023.5.27	日本超音波医学会第96回学術集会	検討中の新しい精密検査診断の紹介と症例検討	埼玉
石山 泰寛	2023.6.2	第45回日本癌学会学術集会	PS>2の高齢者に対する大腸癌に対するハルトマン手術の有用性	東京
伊藤 慎吾	2023.6.2	第45回日本癌学会学術集会	高齢者のpT1b大腸癌に対する外科治療後の長期予後 手術の妥当性について	永田町
網木 学	2023.6.8	第48回日本外科系連合学会学術集会	当院における腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の教育現状	神奈川
伊藤 慎吾	2023.6.9	第48回日本外科系連合学会学術集会	切除不能進行再発大腸癌に対し外科医が行う多職種連携による外来化学療法	高知
中村 幸子	2023.6.16	第29回日本遺伝性腫瘍学会学術集会	当施設での乳癌術後再発高リスク症例におけるBRCA遺伝学的検査とリムバーザ治療の考察	横濱
伊藤 慎吾	2023.6.24	第5回日本在宅医療学会学術大会	非クローン病由来の短腸症候群患者の現状と課題 ~在宅医療の視点から~	新潟
小根山 正貴	2023.6.28	第77回日本食道学会学術集会	Kommerell憩室術後に右側大動脈弓を伴う胸部食道癌手術の1例	大阪
望月 一太郎	2023.6.28	第77回日本食道学会学術集会	胃壁内転移を伴う胸部食道癌に対して胃全摘を回避し長期生存した1例	大阪
関 晶南	2023.6.29	第31回日本乳癌学会学術総会	当院におけるエリブリンの使用成績の検証	横浜
中村 幸子	2023.6.29	第31回日本乳癌学会学術総会	2022年11月までに当クリニックで施行したBRCA遺伝学的検査の経験と考察	横浜
伊藤 慎吾	2023.7.6	第99回大腸癌研究会学術集会	切除不能進行再発大腸癌に対するR0手術症例の治療成績	尼崎
伊藤 慎吾	2023.7.13	第78回日本消化器外科学会総会	Surgical outcomes of surgery in high-risk elderly patients with colorectal cancer	函館
結城 啓介	2023.7.13	第78回日本消化器外科学会総会	当院における虫垂炎に対する保存加療の成績	函館
小川 純平	2023.7.14	第78回日本消化器外科学会総会	A case of complete response to chemotherapy and surgery for sigmoid colon cancer and gastric cancer at the same time	函館
木村 美英	2023.7.29	第31回日本乳癌学会学術総会	種小プローブによる超音波誘導下乳房部分切除の経験	神奈川
石山 泰寛	2023.8.18	10th reduced port Surgery Forum in Kitakyusyu(第15回単項式内視鏡手術研究会・第24回Needlescopic Surgery Meeting)	単孔式腹腔鏡下手術の教育的側面からの観点	福岡
石山 泰寛	2023.9.1	日本蛍光ガイド手術研究会第6回学術集会	腸管壊死に対してICG蛍光法は有用なのか?	愛知
伊藤 慎吾	2023.10.14	第54回日本消化吸収学会総会	急性疾患由来短腸症候群患者の生命予後 ~レベスティブがもたらす臨床的意義について~	福岡
伊藤 慎吾	2023.10.15	第64回全日本病院学会in広島	切除不能進行再発大腸癌に対する多職種連携による外来化学療法	広島
伊藤 慎吾	2023.10.19	第61回日本癌治療学会学術集会	Effects of advance care planning for primary palliative care in patients with metastatic colorectal cancer managed by members of the cancer support care team	横浜
伊藤 慎吾	2023.11.4	JDDW2023	多職種連携により在宅死を目指した 切除不能進行再発大腸癌に対する治療成績	神戸
石山 泰寛	2023.11.10	第78回日本大腸肛門病学会学術集会	他臓器合併切除を行った局所進行大腸癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績と手術技の工夫	熊本
伊藤 慎吾	2023.11.10	第78回日本大腸肛門病学会学術集会	Stage IV大腸癌に対し外科医が中心で行う多職種連携による外来化学療法	熊本
石山 泰寛	2023.11.16	第85回日本臨床外科学会総会	閉塞性大腸癌に対するBridge to surgeryの長期成績	岡山
伊藤 慎吾	2023.11.16	第85回日本臨床外科学会総会	学会発表のすゝめ すべては情報発信することから始まる	岡山
伊藤 慎吾	2023.11.16	第85回日本臨床外科学会総会	貧血を伴う消化管癌に対する術前ポリボキシマルトース第二鉄注射液の有用性について	岡山
渡部 和玄	2023.11.17	第85回日本臨床外科学会総会	傍大動脈リンパ節転移、肝転移、左腎浸潤を伴う切除不能癌に対して、化学療法後にConversion Surgeryを施行した1例	岡山
網木 学	2023.11.25	第41回日本肥満症治療学会学術集会	Portal Mesenteric Vein Thrombosis Following Sleeve Gastrectomy: Report of Two Cases	宮城
網木 学	2023.11.25	第41回日本肥満症治療学会学術集会	JSTO 一般演題(ポスター)9)術式	宮城
関 晶南	2023.11.25	第33回日本乳癌検診学会学術総会	淡く不明瞭な集簇性石灰化に対しマンモグラフィガイド下生検を行った3症例	福岡
網木 学	2023.12.6	第36回日本内視鏡外科学会総会	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術における fat pad 切除の定型化	神奈川
網木 学	2023.12.7	第36回日本内視鏡外科学会総会	一般演題(口演) 93 肥満・代謝 2	神奈川
網木 学	2023.12.9	第36回日本内視鏡外科学会総会	インターネットを活用した患者リクレーティング戦略	神奈川
石山 泰寛	2023.12.7	第36回日本内視鏡外科学会総会	当院でのセンハンス・デジタル・リアルタイムシステム支援下大腸癌手術の現状と展望について	神奈川
皆川 結明	2023.12.7	第36回日本内視鏡外科学会総会	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の大腸癌診療における Bridge bariatric surgery としての試み	神奈川
皆川 結明	2023.12.7	第36回日本内視鏡外科学会総会	S 状結腸憩室炎による結腸膀胱膿瘍に対する手術手技と治療成績	神奈川
成田 和広	2023.12.7	第36回日本内視鏡外科学会総会	ミニオーラル 53 ヘルニア 内ヘルニア 2	神奈川
伊藤 慎吾	2023.12.7	第36回日本内視鏡外科学会総会	虫垂炎手術におけるNDBオープンデータを用いた実際調査	横浜
木村 美英	2023.12.16	第51回日本乳腺甲状腺超音波医学学会学術集会	組織像推定に重要なBモード超音波組織特性深読診(減衰)	東京

論文・教科書執筆等

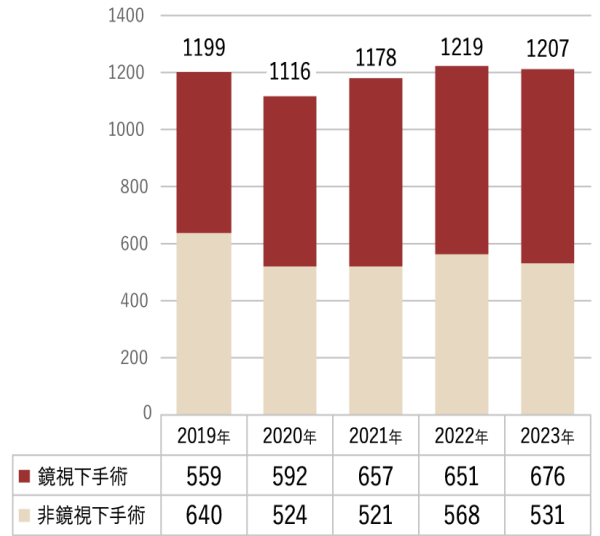
発表者	雑誌名	タイトル
伊藤 慎吾	全日本病院協会雑誌第34巻1号	ポストコロナ時代の緩和ケア 多職種連携により在宅を取り目指した胃癌患者の外来治療
網木 学	臨床外科 78(4):480-485	高度肥満患者に対する腹壁ヘルニア修復術
網木 学	Suegical Case Report 20(9):1-27	Ventral hernia repair with enhanced-view totally extraperitoneal technique after a massive weight loss by laparoscopic sleeve gastrectomy.
網木 学	外科, 2023.11	高度嘔症例に対する治療戦略.ダイエツト.減量外科手術
石山 泰寛	Asian J Surg 2022;46(1):6-12	Combined transanal total mesorectal excision with laparoscopic low anterior resection: a two-team approach for en bloc resection of locally advanced rectal cancer from small intestine and ovary-A Video Vignette.
石山 泰寛	Cancer Diagn Progn. 2023 Mar 3;3(2):236-243	Does Pathological T-factor Affect Long-term Prognosis of Locally Advanced Colorectal Cancer Treated with Laparoscopic Multivisceral Resection?
原田 龍之助	日本大腸肛門病学会誌	直腸癌術後の縫合不全の予防的に留置した経肛門的ドレーンの有効性・安全性
石山 泰寛	Journal of Surgical Case Reports 2023.12 (2023): rjad675.	"Small bowel fistula with colorectal cancer and mesenteric lymph node metastasis: a report of two cases."
石山 泰寛	Journal of Gastrointestinal Cancer, 1-4.	Short-term and Long-term Outcomes After Laparoscopic Surgery for Pathological Stage T4a and T4b Colon Cancer.
福田 敏之	日本腹部救急医学会雑誌= Journal of abdominal emergency medicine, 44(1), 75-78.	単孔式腹腔鏡下手術を施行し得た魚骨による小腸穿孔の1例.
皆川 結明	日本大腸肛門病学会雑誌, 76(7), 480-483.	直腸癌側方リンパ節郭清術後のリンパ嚢腫に対しリビオドールを用いたリンパ管造影が奏効した1例.
木村 美英	Clin Breast Cancer 2023 Apr;23(3):265-271.	Delayed Diagnosis and Prognostic Impact of Breast Cancer During the COVID-19 Pandemic
加藤 裕樹	外科, 85(3), 293-296.	水腎症を合併した十二指腸背側動脈の1例.

手術実績 (2023年1~12月)

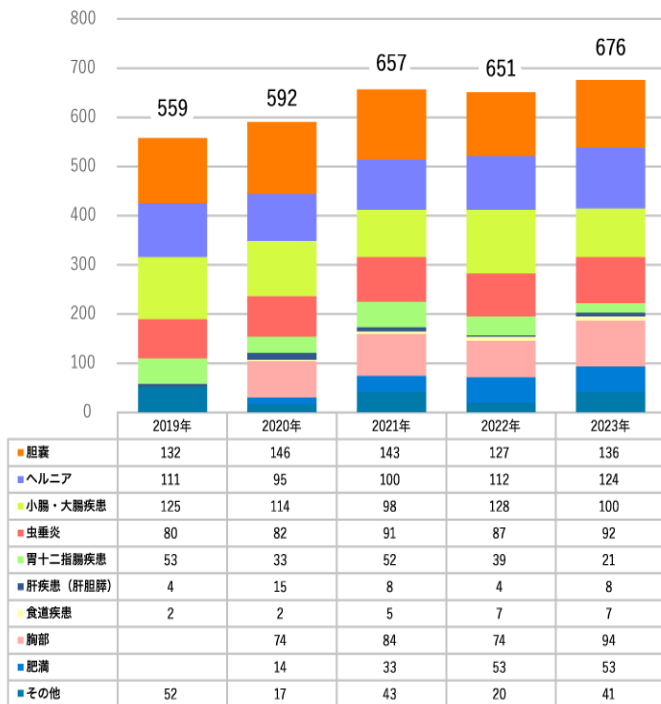
手術件数内訳(全1,207件) ※呼吸器外科手術を含む



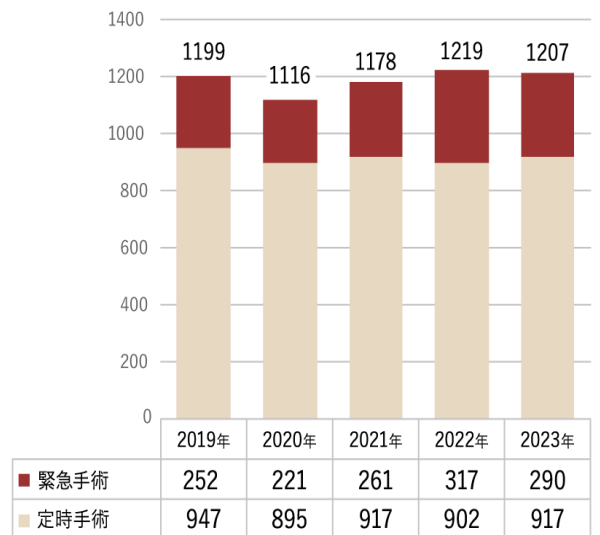
総手術件数と鏡視下手術 年次推移



鏡視下手術の内訳と年次推移



定時手術と緊急手術 年次推移



シームレスな診療の提供 ～第二川崎幸クリニックとの連携～

外科では、外来施設である第二川崎幸クリニックとの連携を密にし、外来診療・診断から入院治療、そして退院後の療養まで、シームレスな診療を提供しています。

川崎幸病院では入院治療・集学的治療を、第二川崎幸クリニックでは外科外来診療、化学療法外来、日帰り手術はもちろん、がん相談外来、緩和ケア相談外来、がんサロン等の精神的、社会的サポートも行っています。



- ・入院治療
- ・がん集学的治療
(手術・放射線治療・化学療法)



シームレスな
診療

- 外科外来/化学療法外来/がん相談外来/
化学療法インテーク外来/緩和ケア相談外来/
漢方外来/リンパ浮腫外来/栄養外来/
がんサロン など

第二川崎幸クリニック 外来予約センター

TEL 044-511-2112

午前診療/ 9:00～12:00 午後診療/14:00～16:30
夕方診療/17:30～予約診療終了まで
土曜診療/ 9:00～12:00
休診日/日曜・祝祭日



交通アクセス

<https://saiwaicl-2.jp/access/>

外来診療

社会医療法人財団 石心会



川崎市幸区都町39-1

入院・手術

社会医療法人財団 石心会



川崎市幸区大宮町31-27



緊急を要する患者様のご紹介は、

川崎幸病院 患者支援センター(044-544-4638)までご連絡ください。